

休校・災害・事件・発生時の放課後デイの対応について

いつも事業へのご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

利用予定日に、台風や大雪等、自然災害が発生し、学校がお休みになった場合、事前に分かる場合もありますが、当日学校判断での休校の場合もございます。

また急な体調不良、地震・事件・事故等、皆様の大切なお子様をお預かりしている事業所としての対応をご確認ください。

①何らかの事情で朝から学校が休校になった。もしくは、なる予定の場合。

「でっかいそら」は施設が崩壊、損傷しない限り営業致します。

「おひさま」を第一優先に開所、職員体制が整い次第「ひだまり」を開所する予定です。時間は8:00には「おひさま」に職員が待機出来る対応をとります。

当日利用の予定のある方にはご連絡を差し上げて、利用の有・無を伺いますが、仕事や、やむを得ない事情の方は、まずは「おひさま」045-302-3332にご連絡ください。職員の出勤状況を確認したうえでの来所をお勧めします。

突然の休校時は朝の送迎も予定しますが、暴風等の警報の解除、当日利用者との連絡・確認、職員準備ができ次第の出発になりますので時間が未定になる事が、ほとんどになります。時間に余裕のない方は来所での受け入れをご利用ください。

時間指定のお迎えは出来かねますのでご容赦ください。

状況によっては昼食の提供が出来かねますので連絡の際に必ず昼食についての説明をお伺いください。尚、強い地震発生時は対応が異なる場合がございますので別途地震発生時についての項目を参照されてください。

②夕方から 天候不順が発生した場合。

活動時間は平日17:00まで土曜日は16:00まで、となっておりますが、夕方からの気象状況によっては送迎の時間を早める場合がございます。その際、必ず利用されている方の保護者にご連絡をしての送迎となりますが、ご不在の場合や、連絡がつかない場合等は施設での待機となり、お迎えをお願いする事になりますのでご承知ください。待機場所が

「おひさま」「ひだまり」どちらかは当日の状況次第となりますのでお電話にてご確認ください。基準は横浜市に気象警報3つ以上、これからの積雪予報、等を総合的に判断致します。

③急な体調不良時について

学校から保護者に発熱等で連絡があった場合、代わりにお迎えに行く事は出来ません。ご利用はお控えください。

下校時の引き渡しの際に体調不良の引継ぎがあった場合、施設到着後、検温を実施し 37.8℃ 以上の場合は保護者への連絡を致します。その際はお迎えに来ていただく事になりますのでご承知ください。（他の利用者への感染を防ぐ為です）

発作、不眠症等で登校が出来ず放課後デイの利用はご相談ください。

発作の持病が発症した際、痙攣が収まらず、かつ断続的に継続する場合は緊急搬送の手続きをとります。救急車手配後に、ご連絡致します。

④災害時の安否確認及び緊急避難先について

「おひさま」「ひだまり」は震度 5 以上の揺れを確認された場合、業務を中止し、行動指針に準じ、迅速に生命の安全確保の準備に入ります。大きな災害時には固定・携帯電話は非常に繋がりにくい状況が考えられます。行動指針をよくご確認いただき速やかな引き渡しにご協力ください。

行動指針：実際の利用時間に発生した大規模災害時に指示命令系統を明確にし、2 次災害のリスクを減らし、個別連絡に手を取られることなく時間的なリスクを軽減する。

災害発生



全ての業務を中止し責任者の指示命令による行動を 5 分以内に開始します。



廣田不在の場合、第 2 指示者 大津留、第 3 指示者 ...以下シフト順に業務を代行致します。

「おひさま」で地震が発生した場合の行動予定表

揺れが収まったのを確認したのち、「おひさま」1F、2F 利用者とも中庭に避難をします。玄関先に避難用具一式があるので利用者の靴とクロックス等が入れてある BOX と共に水場付近に持ち出す。下へ降りる階段の安全が確保できない場合は 2F ベランダの避難トンネルを活用する。車や玄関の鍵の束、水道の栓も余裕があれば事務所から持ち出すようにする。庭では点呼、負傷の確認、火災の有無や建物被害状況の確認を行う。その際、両玄関門扉は指示があるまで絶対に開かない。カーラジオや携帯から情報を収集し今後の対策を協議する。個人の荷物は靴とその場にあった物だけとします。食料 40 人分×3 日分乾パン 常備水 2 リットル×20 本 その他災害セットやヘルメット、毛布、簡易トイレ等必ず庭に出せるよう、平日頃より工夫と訓練を怠らないようにします。広域避難場所は海軍道路の広場ですが建物の倒壊の心配がない限り「おひさま」敷地内よりでないように心がけます。その際、必要になる物資、生活用品等は支援員が最寄りの大門小学校へ行き、確保を心がけます。

「ひだまり」での地震が発生した場合の行動予定表

揺れが収まる前に必ず一か所しかない、玄関の扉が開けられるように鍵を身につけておく。
台所にある避難用品を外に出し駐車場へまずは避難する。

建物状況確認後避難場所は瀬谷中学校とする。

「お迎えや送りの際に災害にあってしまった場合」

送迎車の場合、道路状況を踏まえ、第一は帰社を目標としますが、利用者自宅前など様々な場合を想定し、現場での判断を優先とします。

大規模な災害はいつ、どこで、が予想困難なので常日頃より、今この瞬間に発生したらどうするかを、考えて1人1人の危機意識を向上させていきたいと思えます。

連絡が不通になったり不安になる事もあると思えますが、やれることをやり被害を最小限に抑えていきたいと思えますのでご協力よろしく願いいたします。

生命に関わる緊急連絡以外は添付の災害ダイヤル確認方法を参照にしてください。

④不審者侵入等の事件が発生した場合の対応について

津久井やまゆり園での事件を受け、このような事が二度と発生しないように、悪意を持った侵入者が入りにくい工夫を「でっかいそら」でも取り組んでいきます。

「おひさま」での活動中は外玄関門扉、室内玄関、室内入り口の3か所を必ず施錠しております。御用の方はスロープ側もバス側もお手数ですが、インターフォンが設置されていますので、そちらからお知らせください。また保護者以外の方（ガイドヘルパー・移動支援等）様々な外部の事業所の方も来所されますが、必ず身分を証明する物で確認し、急な変更は必ず保護者の確認をとっての引き渡しとします。

「ひだまり」では道路側窓はプライバシー保護の為の目隠しシートが貼ってあります。外から中の様子は確認しづらくなっていますが同様に中からも外の様子が見えづらい事があります。インターフォンが鳴って、すぐ来客者を確認する前に扉を開錠してしまっているのもより一層の安全向上を目指し、モニターの設置を致しました。

感染症マニュアル

ノロウイルス・インフルエンザ対策

特定非営利活動法人 でっかいそら

平成 30 年 11 月 15 日作成

最初の患者対策がすべてです

感染対策のために必要なこと

職員は…

- 施設における感染症の特徴を理解する
- 感染症に対する知識(予防、発生時の対応、連携体制)
- 自身の健康管理(感染症・媒介者にらないこと)

施設の管理者は…

- 体制整備
- 職員の労務管理
(職員の健康管理、職員が罹患したときの体制づくり)
- 協力医療機関との連携づくり

感染対策の3つの基本

- (1) 感染源の排除**
- (2) 感染経路の遮断**
- (3) 宿主(人間)の抵抗力(健康状態・免疫状態)の向上**

(1) 感染源の排除

- ① 排泄物(嘔吐物・ふん便・尿など)**
- ② 血液・体液・分泌物(喀痰・鼻汁など)**
- ③ 使用した器具・器材(人体などに刺入、挿入したもの)**
- ④ ①～③に触れた手指で取り扱った食品など**

**①②③は、素手で触らず必ず手袋をし、マスクを着用して取り扱
い、手袋を脱いだ後は、手洗い、手指消毒を行う。**

(2) 感染経路の遮断

感染源(病原体)を持ち込まない・拡げない・持ち出さない

空気感染…麻しん・水痘・結核等

飛沫感染…インフルエンザ・風しん等

接触感染(経口感染)…ノロウイルス等

感染経路を遮断するには、手洗い、うがいの励行、環境の清掃が重要です。

また、分泌物、排泄物を扱う時には、手袋・マスク・エプロンを着用すること。事業所に出入りする全ての人に出入時の手指衛生を徹底すること。

(3) 宿主(人間)の抵抗力(健康状態・免疫状態)の向上

特に地域などで感染症が流行している時期は、こまめに職員、利用者の健康状態を確認し、早期発見につとめること。

異常が認められた場合、医療機関の受診と管理者へ報告。

管理者は施設長へ報告すること。

同一の感染症が全利用者の半数以上発生した場合は横浜市へ報告を行う。



さん 発作対応マニュアル

①緊急搬送先	②掛かりつけ	③連絡先	基本情報																								
	<table border="1"><tr><td>月</td><td></td><td></td></tr><tr><td>火</td><td></td><td></td></tr><tr><td>水</td><td></td><td></td></tr><tr><td>木</td><td></td><td></td></tr><tr><td>金</td><td></td><td></td></tr><tr><td>土</td><td></td><td></td></tr><tr><td>日</td><td></td><td></td></tr><tr><td>祝・祭日</td><td></td><td></td></tr></table>	月			火			水			木			金			土			日			祝・祭日			母携帯 父 第3連絡先	障かいの種類 服薬
月																											
火																											
水																											
木																											
金																											
土																											
日																											
祝・祭日																											
症状	対応・処置・気を付けること	その他 注意事項																									
			アレルギー 平熱 血液型																								